



たきばな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟

〒420-0068
静岡市葵区田町1丁目70-1
(静岡県青少年会館内)



各種表彰を受章された皆様

平成28年度 静岡県連盟定時総会・表彰式開催

CONTENTS

静岡県連盟定時総会・表彰式開催	2	カブつうしん	9
平成28年度 静岡県連盟役員名簿	4	ボーイ通信	10
平成28年度 組織拡充大会 開催	5	ベンチャー／ローバー通信	11
団委員研修所・県連定型外訓練	6	指導者だより	12
●団委員研修所 静岡第24期		シンガポール派遣	14
●県連定型外訓練 いまさら聞けないプログラムの展開		マスコミコーナー	15
友情章 おめでとう53名の仲間	7	お知らせコーナー	16
いつも元気だっ!ビーバーだより	8		

静岡県連盟定時総会・表彰式開催

日時：6月4日(土) 会場：静岡市東部勤労者福祉センター(清水テルサ)



6月4日(土)、静岡市東部勤労者福祉センター(清水テルサ)にて、ボーイスカウト静岡県連盟の平成28年度定時総会と表彰式が開催されました。

表彰式では、富士章受章スカウトの顕彰、日本連盟の功労章(たか章・かっこう章)及び褒章受賞者の紹介、県連感謝状・善行綬・特別有功章・有功章の表彰が行われました。

定時総会では、川勝連盟長の「今夏富士山麓山の村で開催される第12回日本アグーナリー

は、第23回世界スカウトジャンボリーで培われた世界友愛の精神を活かす機会であり、参加スカウトへの心のこもった支援を期待している。」とのメッセージが土山副連盟長より披露されました。続いて、塩谷立衆議院議員(県連盟・副連盟長)をはじめ、多くのご来賓の方々から、スカウト活動への期待のご祝辞を頂戴しました。

議案審議では、村松武博副理事長が議長に指名され、議案の審議が行われ全議案が承認されました。



出席者全員で“おきての唱和”



日本連盟表彰受章者の皆さん

平成28年度 議 案

第1号議案

平成27年度 事業報告及び承認を求める件

第2号議案

平成27年度 収支決算報告及び承認を求める件

第3号議案

監事の選任に関する件

第4号議案

平成28年度 事業計画案及び承認を求める件

第5号議案

平成28年度 収支予算案及び承認を求める件

報告事項

1. 名誉役員及び県連役員を紹介
2. 各種委員会委員を紹介
3. 第23回世界スカウトジャンボリー
4. 第12回アグーナリー

—— 県連盟 年度事業方針 ——

◆スローガン

地域社会の発展に貢献する
スカウト運動の推進

◆重点目標

1. 節度ある行動と実践

おきてを忠実に実践しよう

2. 未来を担う指導者の育成

ユース年代の活動に支援しよう

3. スカウト運動の認知度を高める

スカウティングの楽しさを広めよう



平成28年度 静岡県連盟役員

No.	役職	氏名	備考(担当、地区等)
1	連盟長	川勝平太	
2	副連盟長	塩谷立	
3	副連盟長	渡辺周	
4	副連盟長	土山和雅	
5	理事長	前澤侑	
6	副理事長	花畑金亨	(兼)総務委員会委員長
7	副理事長	村松武博	地区委員長会担当
8	副理事長	仲田始	
9	業務執行理事	戸田正明	県連盟コミッショナー(兼)コミッショナー委員会委員長(兼)名誉会議議長
10	業務執行理事	脇坂茂	事務局長
11	業務執行理事	松永伸弥	指導者養成委員会委員長
12	業務執行理事	西村清矢	プログラム委員会委員長
13	業務執行理事	土山山之	組織拡充委員会委員長
14	業務執行理事	松田茂	広報委員会委員長
15	業務執行理事	脇坂英子	安全委員会委員長
16	理事	松山下喜彦	外部理事(学識経験者)
17	監事	石神伊佐男	
18	監事	市川未男	
19	地区委員長	森田文明	伊東地区
20	地区委員長	土山山之	三島地区
21	地区委員長	田村照児	沼駿地区
22	地区委員長	藤曲敏春	御殿場・小山地区
23	地区委員長	杉山満	富士地区
24	地区委員長	野中仁	富士宮地区
25	地区委員長	島山幸喜	清水地区
26	地区委員長	北村誠	静岡地区
27	地区委員長	川村進	志太地区
28	地区委員長	鈴木隆春	島田地区
29	地区委員長	牧野勲夫	掛川・袋井地区
30	地区委員長	鈴木均	磐田地区
31	地区委員長	西村清矢	浜松地区
32	地区委員長	佐藤誠	浜松東地区
33	地区委員長	今村春幸	浜北・天竜地区
34	県連盟副コミッショナー	小林立透	
35	県連盟副コミッショナー	佐藤清子	
36	県連盟副コミッショナー	志賀裕人	
37	県連盟副コミッショナー	植田明子	
38	県連盟副コミッショナー	池ヶ谷充寛	
39	県連盟副コミッショナー	堀内正治	
40	名誉会議議員	藤田和夫	三島地区
41	名誉会議議員	鈴木孝治	富士地区
42	名誉会議議員	瀧島三郎	静岡地区
43	名誉会議議員	鈴木邦男	志太地区
44	名誉会議議員	兼子孝宏	磐田地区
45	名誉会議議員	松田怡男	浜松東地区

平成28年度 組織拡充大会 開催

「組織拡充大会」が開催され、「地区一番団」の顕彰と、「パネルディスカッション」が行われました。

地区一番団顕彰

今年度は、各地区で特徴的な活動を展開する団を選考し「一番団」として顕彰することになりました。



伊東地区	伊東第5団
三島地区	三島第3団
沼駿地区	沼津第4団
御殿場・小山地区	御殿場第6団
富士地区	富士第4団
富士宮地区	富士宮第21団
清水地区	清水第19団
静岡地区	静岡第27団

志太地区	藤枝第2団
島田地区	金谷第1団
掛川・袋井地区	菊川第1団
磐田地区	磐田第1団
浜松地区	浜松第7団
浜松東地区	浜松第22団
浜北・天竜地区	該当なし

～パネルディスカッション「奮闘団に学ぶ」～

パネリストの発表の後、「スカウトの獲得」「指導者の確保」について参加者を交えて活発な意見交換が行われました。



清水第19団(登録者59名) 脇坂 茂さん 地域と共に活動する

地域で開催する「祭り」「運動会」「研修会」等への奉仕・参加は、地域の人々にスカウト運動を知ってもらえるチャンスとして積極的に行っている。恒例の団行事として、「高部餅つき大会」(ここ数年50名をこえる地域の親子が参加)・「スカウト展」(高部交流館の展示スペースを借りて30日間の長期で展示)を実施している。



富士第4団(登録者85名) 伊藤 榮彦さん 団家族

VS隊・BS隊・CS隊・BVS隊の枠を外した新しいグループを作り、年長のスカウトが兄・姉役となって世話をする団行事を行っている。



豊田第1団(登録者57名) 大石みどりさん 子どもたちの笑顔が一番

資格保持者(認定心理士・教育カウンセラー等)による相談機能、「ボランティア祭り」での体験会実施(手旗・クラフト・餅つき)、月3～4回の集会実施に取り組む頼もしい指導者たち、メールやLINEを利用した保護者との迅速な連絡、などの様々な活動を積極的に展開している。

団委員研修所・県連定型外訓練 おつかれさまでした!



団委員研修所 静岡第24期

平成28年5月3日～5日 静岡市清水和田島自然の家

● 団委員研修所 静岡第24期

◇期間:平成28年5月3日(火・祝)～5日(木・祝) ◇場所:静岡市清水 和田島自然の家



● 県連定型外訓練 「いまさら聞けないプログラムの展開」

◇期間:平成28年5月4日(水・祝)～5日(木・祝) ◇場所:ボーイスカウト浜松 太田山野営場



おめでとう!! 53 名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友だちに「スカウトになろうよ!」と言って、
友達がスカウトに入るともらえる章です。

記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

平成28年5月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充委員会

氏 名	地区	所 属
植松 良介	沼 駿	沼津第 4 団 BVS
江神 瑠璃	沼 駿	沼津第 4 団 BS
瀧川 璃莉	沼 駿	沼津第 4 団 CS
竹内 雄介	沼 駿	沼津第 1 団 BS
仲間 友理恵	沼 駿	沼津第 1 団 CS
田村 琳	沼 駿	沼津第 1 団 BVS
岩澤 瑞月	沼 駿	沼津第 19 団 CS
岩澤 洸瑠	沼 駿	沼津第 19 団 CS
Sophie Parmenter	沼 駿	沼津第 19 団 BS
大谷 優真	島 田	金谷第 3 団 BVS
堀内 瑛斗	志 太	焼津第 1 団 CS
佐藤 光希	志 太	焼津第 1 団 CS
竹本 美羽	志 太	焼津第 1 団 CS
岡村 彰太	志 太	焼津第 1 団 CS
神尾百々子	志 太	焼津第 1 団 CS
澤木 美織	富 士	富士第 14 団 CS
田中 杏音	富 士	富士第 8 団 BVS
瀧 大和	富 士	富士第 8 団 BVS
水口 恵輔	富 士	富士第 8 団 BVS
栗田 秀	富 士	富士第 8 団 CS
栗田 琉衣	富 士	富士第 8 団 CS
山田 竜也	富 士	富士第 11 団 CS
天野 佳真	浜松東	浜松第 22 団 BVS
北 昊祐	浜松東	浜松第 22 団 BVS
藤森 颯空	浜松東	浜松第 22 団 BVS
鈴木 心結	清 水	清水第 19 団 BS
松岡 響樹	清 水	清水第 19 団 CS

氏 名	地区	所 属
岡村 吏人	清 水	清水第 19 団 CS
幡鎌 萌	清 水	清水第 19 団 CS
佐藤 美帆	清 水	清水第 19 団 CS
堀 夢叶	清 水	清水第 19 団 CS
小松 岳人	浜 松	浜松第 12 団 BS
小松 和真	浜 松	浜松第 12 団 BVS
山本 祐也	浜 松	浜松第 12 団 BS
河合 優輝	浜松東	浜松第 30 団 BVS
谷口 俊介	浜 松	浜松第 12 団 CS
谷口 咲子	浜 松	浜松第 12 団 BVS
西 唯月葉	三 島	三島第 5 団 BVS
杉山 碧	沼 駿	長泉第 2 団 CS
望月 碧晴	富 士	富士第 8 団 BVS
早川 結羽	富 士	富士第 8 団 BVS
樋口 優太	富 士	富士第 11 団 BVS
富田 陸功	富 士	富士第 11 団 BVS
勝亦 香好	富士宮	富士宮第 5 団 BVS
佐藤 和彦	富士宮	富士宮第 22 団 CS
今井 芹	富士宮	富士宮第 22 団 CS
國井 舞子	浜 松	浜松第 12 団 CS
廣野まいあ	御殿場 小山	御殿場第 6 団 CS
西下 煌基	掛川 掛袋	菊川第 1 団 BVS
加藤 大翔	島 田	島田第 1 団 BS
浦上 訊	磐 田	豊田第 2 団 BVS
永井 孝汰	磐 田	磐田第 10 団 BS
海野 頼寿	磐 田	磐田第 10 団 BS



いつも元気だっ! ビーバーだより

さいごまでやりぬいて

清水地区 清水第17回 ビーバー隊 齊藤 尚希

きょう、ごてん山にハイキングにいきました。あるきなれないさかみちをいっしょうけんめいあるきました。

とちゅうでつかれてあるくのをやめなくなっただけ、たいちょうやうちの人にはげまされてさいごまであるくことができました。

ひろばにつくとすべりだいやみはらしがいがありました。

ぼくはおとうさんとみはらしだいにのぼりました。そしたら、ふじさんやするがわんがとてもきれいにみえました。とちゅうであきらずにさいごまでのぼれてきもちよかったです。



たのしかったビーバーたい

浜松地区 浜松第19回 ビーバー隊 横井 麻優

2月にきそふくしまスキーじょうにスキーくんれんにいってきました。きょねんからすこしずつすべれるようになりました。ことしは、ちょう上にいってすべっておいてこようとおもっていました。カブたいのふくちょうさんが「いっしょにすべろう」といってくれたのでちょう上にむかいました。ちょう上につくとてんきがよかったのですばらしいけしきを見ることができました。そしてちょう上から、すべりはじめました。下ですべるよりもスピードがはやくてすこしドキドキしましたが、ころばずにすべることができてとてもうれしかったです。

そのあとはなんどもちょうせんしました。スキーをはじめたばかりだけだすこしずつ足をそろえてすべれるようにになりたいです。こんどスキーくんれんがあったらまたさんかしてことしよりもじょうずにすべれるようにになりたいです。



みどりのぼきんとごみひろい

御殿場・小山地区 御殿場第3回 ビーバー隊 佐藤 舞乙

わたしは、5がつ8かに、みどりのぼきんにさんかしました。「みどりのぼきん、おねがいします。」と、こえをだしていうのをがんばりました。たくさんのひとが、ぼきんばこにぼきんをいれてくれました。そのあとごみひろいもしました。どうろのごみをいっばいあつめることができました。これからやるかつどうでは、キャンプがたのしみです。もっとたくさんのともだちをビーバーたいにさそいたいとおもいます。





緑の募金とロッククライミング

伊東地区 伊東第5団 カブ隊 太田 汐海

5月3日に城ヶ崎で緑の募金とロッククライミングを行いました。午前中は城ヶ崎のつり橋の周りをボーイ隊と一緒に募金をしました。入口、つり橋の手前、つり橋の奥と3班に分かれました。私はつり橋の手前で、募金をしました。みんなで協力して募金を頑張りました。

午後は、ボーイ隊がキャンプの準備で倉庫整理に行ったのでカブ隊だけでロッククライミングをしました。場所はあぶな根の先です。最初に隊長が岩の歩き方を教えてくれました。岩に慣れたら岩の登り方を教えてくれま



した。三点確保の登り方です。みんなは命づなをつけない時は登れるのに、命づなをつけると怖くて登れなくなってしまいます。初級コースを順番に登りました。怖いせいかみんな時間がかかりました。私の番になりました。登るのは早く登れました。おりの時足場が悪く二回すべりました。でも、五分ぐらいで登れたのでよかったです。上級コースは思ったより岩が前にでていてなかなか登れませんでした。途中でギブアップしたので残念でした。

上級コースは登れなかったけれどロッククライミングを通して恐怖心に勝ってチャレンジすることを学びました。これからはむずかしいコースもチャレンジしていきたいです。



弥生時代を体感しました

静岡地区 静岡第26団 カブ隊 横山さくら

JR 静岡駅北口から班ごと地図を見ながら登呂遺跡まで歩き、弥生時代を体感しました。

「弥生時代って？」
「今から2000年くらい前だよ。」

「日本で初めてお米作りした村だって。」

「今は機械で田植え、稲刈りなどするけど、木で道具を作ったんだって、頭がいいね。」

田植を体験し、赤米の試食もしました。

「土器で炊くんだね。時間かかりそうー。」

「お米の色が赤い！かたい！」

「スプーンも大きいね。」

貫頭衣かんとういという服も試着しました。

「真っ白だね。」

「夏はすずしいけど、冬は寒そうだね。」

家や倉庫も見学しました。

「広いけど、雨が降るとぐちゃぐちゃだね。」

「夏は天然クーラーですずしそう！」

「ねずみが登っても中に入れない工夫は、すばらしいね。」

弥生時代の人々の生活の知恵に驚きました。



外国の人とお話ししました

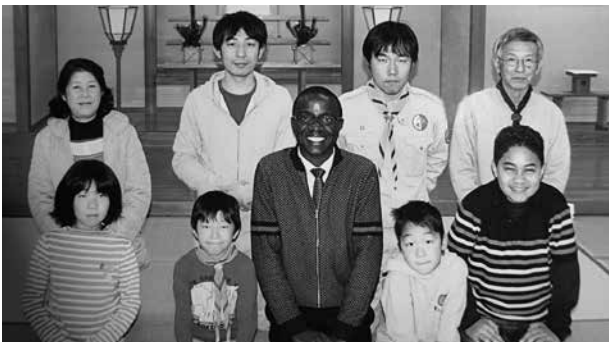
磐田地区 磐田第 11 団 カブ隊 新田 慎悟

ぼくたちのいつもかつどうする教会に、アンゴラからせの高いお兄さんが来ました。

そのお兄さんはケイタさんという名前で、きゅうせい教のことをべんきょうするために日本に来ました。アンゴラの方は、ポルトガル語をしゃべるけど、ケイタさんは、日本語が上手です。

11 団のみんなでケイタさんにアンゴラのことを教えてもらいました。ケイタさんは、アンゴラのダンスとけしきをタブレットで見せてくれました。ほかにもタブレットでアンゴラの動物をみせてくれました。オリックスを見せてくれました。

ケイタさんと話をしていたらアンゴラに行きたくなりました。アンゴラに行くために、お母さんにポルトガル語を教してもらいたいです。

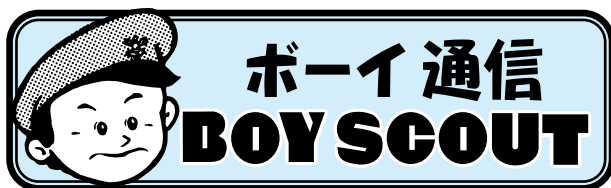


ぼ金活動にさんかして

浜北・天竜地区 天竜第 1 団 カブ隊 佐藤 孝介

ぼくはカブスカウトの活動で熊本地しんぎえん金ぼ金をしました。今まで一度もぼ金活動にさんかしたことがなかったので、はじめは何をして良いかわかりませんでした、でもボーイたいの人達が教えてくれたので、大きな声でぼ金をよびかけることができました。ぼくのよびかけにたくさんの方が気付いて、ぼ金してくれました。ぼくは人の役に立てる活動ができて、うれしく思いました。ぼ金で集めたお金が、熊本の人達のためになるといいと思います。

これから夏のキャンプや冬のスキー訓練など、楽しみにしている活動がたくさんあります。カブスカウトの活動にさんかして、いろいろなことにちょうせんし、いろいろなことを身に付けていきたいです。



スーパーカブになるために

三島地区 三島第 5 団 ボーイ隊 飯田 哲也

ぼくは今年、スーパーカブを達成しました。

うさぎスカウトのときからぼくは、毎回隊集会やキャンプ、ハイキングに積極的に出席しました。また、土日や夏休みなどを利用して、図書館に調べ物をしに行ったりして、チャレンジ章を多くとるために、工夫や努力をしてきました。

がんばったチャレンジ章は、気象博士とスキー選手、アイススケート選手です。とくにがんばったのは、アイススケート選手です。なぜかという、初めてスケートをして、転とうをしつつも 1 日がんばってすべれるようになったからです。

そして BP 祭のときに、地区委員長に表しようさ

れました。ぼくはそのとき（今まで苦労しながらもここまでこれでよかったな。）と思いました。

しかし、ここまでこれたのも、ぼく一人の力ではありません。隊長や副長、デンリーダーのおかげだと思います。また、今までいっしょにやってきた『くまスカウト』の友達がいたからだと思います。

改めて、3 年間カブスカウトをやっていて、よかったとスーパーカブをとって思いました。



班長になって

志太地区 焼津第2団 ボーイ隊 畠山 佑紀

僕は、カブスカウトからボーイスカウトに上進して2年目で班長になりました。僕が班長になるまでは中学3年生が班長をやっていました。普通の活動でもそうでしたが、特に青春18きっぷを使い、京都まで行く活動では、班長に頼っていたことも多く、時には甘えてしまった面もあったように思います。

今年の3月からは、1つ下の学年が上進し僕が上級生となり、班長という責任ある立場になりました。これからは、僕が前の班長のように下級生から頼りにされ、みんなを引っ張り、班をまとめていかなければならないと思います。

そして僕は、班長になって目標ができました。その目標は、他の団との交流を増やすことです。今までは、他の団と活動をする機会は少ししかありませんでした。他の団との活動は、自分の団だけではできないような、色々な活動ができると思います。例えばキャンプでは、他の団の人たちと合同の班を作

ることで、新しい友達が出来たり、他の多くの班と技術や知識で競い合ったりもできるなど、切磋琢磨することで、普段の自分の団でのより良い活動につながると思います。そのため、他の団との活動を増やしていきたいと思います。

僕はこれから、この目標をもとに活動していきたいです。また、班長としての責任感をしっかり持って、臨機応変に対応し、下級生に頼られるような班長を目指して、精一杯がんばっていきます。



我愛台湾

島田地区 金谷第1団 ローバー隊 鈴木 啓太

昨夏に島根県出雲大社まで自転車で旅した私。春休みの2016年3月17日に台湾に向け旅立った。理由は単純明快に自転車で台湾一周。ただそれと同時に大学で学んでいる中国語がどれほど通じるのか試してみたいという目的もあった。

さてこのような目的の元で行った台湾ではあったが、到着と同時に大きな問題に衝突した。それは台湾で自転車を借りた残りの全財産が一万六千円(日本円で)しか残らなかったことである。こうして私の楽しい楽しい台湾ライフ(?)が幕を開けた。

まずぶち当たった壁は「宿泊費」の問題である。これについてはテントを持って来ていたこともあり「野宿」という最終手段もあったわけだが、今回の旅では別の手段で解決した。それは、消防署や警察署、小学校などに泊まるという手段であった。なぜそんな場所に泊まれたのか、それは未だに分からないが、とにかくこれで宿泊場所の問題についてはめ

でたく解決した。

また、「海祖」という神様を祭るお祭りがあり、それにも参加する機会を得た。このお祭りは台湾で最大規模を誇るお祭りで、中国本土からも参加者が多数訪れる一大行事であるらしい。この「海祖」という神は中華文化に元から存在する宗教と道教、仏教が融合したものであるらしい。宗教に直接参加することで台湾文化の一面が少しわかった気がする。

このようにお金がなくても楽しめる(あればなおさら楽しめる)台湾。皆さんも一度は行ってみたいかがでしょうか。



続けるということ

富士地区 富士第14団 ベンチャー隊 里和健三郎

私がボーイスカウトを始めたのは小学校5年生のとき。振り返ってみると、実に7年間も活動を続けてきたことになる。入団当時はいきなり年長のくまスカウトとして活動することに不安を感じていた。しかし、日常生活では見ることがない動植物を観察したり、キャンプをしたりすることに興味が湧き、次第に夢中になっていった。ボーイでは2回ジャンボリーに参加し、そして2年前、交流のあるラトビア共和国に友好使節団として派遣していただいたことで、自分の世界が更に広がった。こうした体験は、家族や団の援助、そして何よりボーイスカ



ウトを続けてきたからこそできたと思っている。

しかし近年、活動に積極的でないスカウトが残念ながら少数いるようだ。そんなスカウトたちに、私はひとつ提案したいことがある。それは、何かひとつのことに集中し続けることだ。例えばキャンプで火をどう効率的につけることができるかといったように、小さなことでもそれを極める努力をするのだ。極めるために知識を身につけ、考え、失敗にへこたれずに挑戦し続けてほしい。それが自分が関わっている活動に興味を持つきっかけとなるかもしれない。継続力は勿論だが、ボーイスカウトで培う経験は人生で無駄になることはないということを意識して活動してほしいと思う。



指導者だより

年間計画に沿って

静岡地区 静岡第26団 カブ隊副長 石川 和美

今年も新しい年度が始まりました。当隊でも、年間計画に沿っての活動を始めています。

5月は、コマ地図と地図を併用しての「登呂遺跡ハイキング」を実施しました。コマ地図については、くま・しかスカウトは昨年実施し、地図を作りましたが、うさぎスカウトは、今回が初体験となりました。コマ地図を渡して、「はいこれ使って目的地まで行きなさい」は無理なことなので、事前にコマ地図についての説明と地図記号についての説明を行いました。(コマ地図について、たよるは、くま・しかスカウトです…)

5月22日に、「登呂遺跡ハイキング」を実施。歩道を1列で歩こう、ポイントでは必ずチェックをしよう等々、隊長と約束をし、コマ地図と地図を併用して静岡駅南口を出発し、コマ地図を見ながら目的地の登呂遺跡まで、歩きました。歩道を1列になっ



て…。スカウト達にとっては、楽しいおしゃべりもなく(?)歩いていたのには、感心しました。

登呂遺跡に到着後は、火起こし体験や赤米の試食、ボランティアガイドのお姉さんのお話を伺いました。

スカウトの中に今日の活動が少しでも残ってくれたらいいと思います。スカウトの意識の中に残っていくような活動をしたいと思っています。



地域と共に歩むスカウティング

富士宮地区 富士宮第25団 団委員長 望月 大和

私たちの富士宮第25団は、富士宮市の中心市街地の真中に位置し、浅間大社の門前町として栄えてきた地域です。ですから8年前に発団した時も大社には物心両面のご支援をいただきました。この浅間大社の祭神である木花之咲那姫命の第一王子を祭っているのが、若之宮浅間大社と言ひ、神話の「海幸彦・山幸彦」の主人公です。

私たち第25団は、月1回の隊集会・富士宮地区

B P 祭などで境内地をお借りしています。地区の活動方針は「地域と共に歩もう！」をスローガンにしています。そこで「スカウトの日」の関連行事として、12月の行事「25 団・感謝の集い」を開催しました。日頃お世話になっている御礼と感謝の誠を込めて、枯木の片付けと枯葉の清掃を行いました。スカウト・リーダー・団委員そして父母約 30 名が心をつなげて、新年を迎える準備をしました。やはり奉仕活動は気持ちがいいものです。終了後は、歌とゲームで楽しみました。最後は、お母さんたちが用意してくれた「おいしいおしるこ」をいただき解散しました。



浜松第24回 ビーバー隊の活動

浜松東地区 浜松第 24 団 ビーバー隊隊長 渡部 明広

ボーイスカウト浜松第 24 団ビーバー隊の活動を紹介します。スカウト数 4 名、リーダー 5 名で構成されていてビーバーのスカウト数も年々減少し今期はビクビーバーが所属していない状態です。しかしスカウトはみんな元気で活発に活動しています。

ハイキングや自然と触れ合いながらの外遊びが中心の活動をしていて時々、カブと合同で活動することもあります。5 月 15 日にもカブと合同で島田市の蓬莱橋ハイキングを行いました。切符の買い方や電車の乗り方をみんなで覚え、ハイキングでは帰りはカブと別ルートとなりましたが約 8 キロの距離を全員脱落することなく歩ききりました。島田駅までの駅の数や蓬莱橋の「ど真ん中」ってどこにあるの？などのゲームを織り交ぜながらハイキングの楽しさを覚えて「スカウト活動は楽しいよ」と思ってもらえるような活動を意識しています。

又、合同で活動を行うことによりカブのお兄さんの背中を見て「カッコいい」と思ったりカブも「ビーバーが見ているからしっかりしなくちゃ」と襟を正したりして相乗効果もあつたりします。

今後も自然の中でふれあい、自分で発見し、考えて、楽しさを忘れない活動を行ってカブやボーイへと繋がるスカウト活動をしていきます。



班長を育てる

浜松東地区 浜松第 30 団 ボーイ隊副長 平林 規代

浜松第 30 団では、班集会の活動において、班長が班のメンバーにトレーニングや支援ができるよう、班長訓練で隊長と副長が 3 人の班長達へ技能や知識、班長としての心構えを身につけることができるよう指導に務めております。訓練後、班長達は班集会を展開しますが、集会を行う前に集会の計画書を作成し、隊長へ提出。集会終了後は報告書を作成し隊長へ提出します。隊長は提出された計画書・報告書に目を通し、アドバイスや励ましの言葉を添えて班長達へ返します。こうした計画書・報告書を作成することは、責任感・指導性・自信等が発達するだけではなく、隊長との信頼関係も深めていけるのではと思います。我が 30 団の班長は、3 人共中学 3 年生。学業、部活動、塾等で毎日慌ただしく過ごしています。限られた時間の中で班集会の設定や書類の作成に奮闘している姿を見ると、とても頼もしく感じます。また隊集会において班長の出席率が良いのは、自分が班をまとめなければという責任感と心構えが備わってきていると言えるのではないかと思います。今後も良い班長を育てる為、隊長をサポートしながら、指導に当たって行く所存です。



カブスカウトの海外派遣



静岡地区シンガポール派遣団

副長 南條 順子 (静岡第27団 副団委員長)

静岡地区は、2014年からシンガポール連盟との国際交流活動に取り組んでいます。今年3月には、カブ8名・ボーイ9名・ベンチャー1名・ローバー1名・指導者4名 計23名による「第1回シンガポール派遣」(3月24日～31日:8日間)を実施しました。派遣に先立ち、静岡市長の表敬訪問を行い、静岡新聞や静岡朝日テレビでも紹介されました。

シンガポールのキャンプ場では、キャンプファイヤーや野外料理対決・ボルダリング・ドラゴンボート漕ぎなど現地のスカウトと一緒に活動をしました。また小学校のスカウト活動にも参加し、沢山のスカウト仲間を作ることが出来ました。活動にはシンガポール連盟のチーフ・コミッショナーや国際コミッショナーも参加され、連盟を挙げての心温まるご対応をして頂きました。



静岡新聞 平成28年3月23日 朝刊

2017年冬には、シンガポールのスカウトが静岡を訪問する計画が進められています。派遣に参加したスカウト達は、今度はホスト役として「おもてなし」が出来るように英語をマスターしたい、と張り切っています。

派遣の詳しい様子は、

Facebookの
「ボーイスカウト静岡地区
シンガポール派遣」

に写真を掲載していますので、そちらを是非ご覧下さい。



マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

「スカウトフェア」 三島地区 大仁第1団



静岡新聞 平成28年5月24日 朝刊

子どもたちの会を兼ねた「モンキーブリッジ」
伊豆の国市天野の狩野川リバーサイドパーク

伊豆の国でフェア 団員、技術を披露
BS県連盟

ボーイスカウト県連盟を渡る「モンキーブリッジ」も盛況だった。盟主催の「スカウトフェスティバル」が人気。子どもたちも「信号塔」や「信号機」など、さまざまな工作やゲームなど、さまざまな体験コーナーを設けた。活動で使うテントの展示なども行った。団員の保護者らによる模擬店も並び、多くの親子連れらでにぎわった。

伊豆の国市天野の狩野川リバーサイドパークで開かれた。スカウトの活動を多くの人に知ってもらおうと、ボーイスカウト大仁第1団やガールスカウト三島地区などが協力して開催。「あつまれ！みんな！ふれあい・思いやり・仲間づくり」をテーマに、さまざまな企画を用意した。

体験コーナーでは、木とロープで作った橋

伊豆の国でフェア 団員、技術を披露
BS県連盟

ボーイスカウト県連盟を渡る「モンキーブリッジ」も盛況だった。盟主催の「スカウトフェスティバル」が人気。子どもたちも「信号塔」や「信号機」など、さまざまな工作やゲームなど、さまざまな体験コーナーを設けた。活動で使うテントの展示なども行った。団員の保護者らによる模擬店も並び、多くの親子連れらでにぎわった。

平成28年(2016年)5月24日(火曜日)

伊豆の国 ボーイスカウト活動紹介
伊豆の国市のボーイスカウト大仁第1団(土山惟之委員長)は22日、日頃の活動を紹介する「スカウトフェア」を同市の狩野川リバーサイドパークで開いた=写真=。

約2.5mの高さに張った綱の上を渡る「モンキーブリッジ」や、割り箸、牛乳パックを使った工作など、さまざまな体験コーナーを設けた。活動で使うテントの展示なども行った。団員の保護者らによる模擬店も並び、多くの親子連れらでにぎわった。

伊豆日日新聞 平成28年5月23日 朝刊



おしらせコーナー

各種研修案内

コミッショナー研修所 静岡第13期

- 期 間:平成28年9月17日(土)~19日(月・祝)舎営
- 場 所:国立中央青少年交流の家(御殿場市)
- 申込み:8月28日⑩まで

ウッドバッジ研修所 スカウトコース(試行) 静岡第1期

- 期 間:平成28年10月8日(土)~11日(火)テント泊
- 場 所:三島市立箱根の里(三島市)
- 申込み:9月4日⑩まで

ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎ 054-255-6185) まで
ホームページもご覧ください。 <http://bs-shizuoka.com>

編集日記

スカウトの増員を目指して、広報活動を強化していきます。

楽しく元気な活動の原稿・写真をどしどし投稿下さい。新聞・雑誌に掲載された記事もお送り下さい。

[たちばな]チーム一同

広 報 “たちばな” 2016 年 7 月

発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
県青少年会館内
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186
<http://bs-shizuoka.com>

編集責任者 広報委員長 松田 茂

印 刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678

発行部数 5,517 部